

令和4年2月3日

多摩川下流部減災対策部会 構成員 様

国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所長 竹田 正彦

多摩川掘削土砂の有効活用に関するアンケート調査へのご協力について

平素より国土交通省の河川行政に、ご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当事務所では、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」に位置づけられている河道掘削を鋭意進めているところですが、掘削土砂の受け入れ先および仮置き場所の確保に苦慮しているところです。

つきましては、貴自治体において、多摩川の掘削土砂を受け入れていただける公共事業などの受け入れ先、掘削土砂を一時的に仮置きするヤードについて、アンケート調査を行いますので、可能な範囲でご回答へのご協力をお願いいたします。

記

1. アンケート内容

- 掘削土の再利用に関するアンケート（別紙-1、3）
- 掘削土を処分地までに運搬するため、一時的に仮置する広場（ヤード）に関するアンケート（別紙-2、4）

2. 回答期限

令和4年2月25日（金）

3. 問い合わせ先及び提出先

京浜河川事務所 工務課 専門官 林 E-Mail: hayashi-h8313@mlit.go.jp

電話：045-503-4006

調査課 専門官 大浪 E-Mail: oonami-h8310@mlit.go.jp

電話：045-503-4008

多摩川掘削土の再利用に関するアンケートのお願い（案）

多摩川の河道掘削は令和6年度までに約200万 m³ を予定しています。

一方で、貴重な資源であり、また事業の効率的観点からも周辺地域における有効活用を図ることが必要となっています。

つきましては、窪地の埋め立てや低地のかさ上げ等を目的に埋め立又は盛土の受入可能な土地（計画を含む。）との有効利用を図りたいと考えています。

つきましては、以下の1. 受入地の条件および2. 費用負担等を確認いただき、3. 受入可能地の概要に関するアンケートのご協力をお願いします。

1. 受入地の条件

- ① 土地造成地等は、所有者が都京市区もしくは、都京市区の計画地であること。
- ② 埋め立又は盛土量が1か所当たり概ね 1,000m³ 以上であること。
- ③ 道路の幅員が 4m 以上あり、大型ダンプトラック（10トン車）で土砂の搬入ができること、もしくは、現状では土砂の搬入ができないが搬入路の土地等が貴市区又は貴土地改良区で用意でき、搬入路の設置が容易な場合であること。

2. 費用負担等

- ① 搬入後の作業等（敷き均し、締固め、土砂流出措置等）必要な対策は、各事業者の負担となります。
- ② 搬入路が必要な場合には、各事業者により用地買収あるいは借地契約等の手続きをお願いします。
- ③ その他費用負担については、受入条件により個別相談させてください。

3. 受入可能地の概要（アンケートの内容）

上記1. 受入地の条件および2. 費用負担等に適合する受入れ可能地の概要を、別紙－3に記載してください。

多摩川河道掘削の仮置ヤードに関するアンケート（案）

多摩川の河道掘削を令和2年度～令和6年までの5年間で、約200万 m³を予定しています。

河道掘削をスムーズに実施するためには、理想的には、河川近傍において、河道掘削を一時的に仮置きする広場（ヤード）が必要です。

つきましては、以下の1. 仮置ヤードの条件および2. 費用負担等を確認いただき、3. 仮置ヤード可能地の概要に関するアンケートのご協力をお願いします。

1. 仮置ヤードの条件

- ① 仮置ヤードの面積が1か所当たり概ね1万 m²以上であること。
- ② 道路の幅員が4m以上あり、大型ダンプトラック（10トン車）で土砂の搬入ができること。もしくは、現状では土砂の搬入ができないが、搬入路の設置が容易な場合であること。

2. 費用負担等

- ① 選定頂きました仮置ヤードが実際に借用可能かどうかは、当事務所が地権者と相談します。
- ② 可能な場合には、原則、借地料を算定して、当事務所が支払います。
- ③ 搬入路は当事務所で設置させて頂きます。

3. 仮置ヤード可能地の概要（アンケートの内容）

上記1. 仮置ヤードの条件および2. 費用負担等に適合する仮置ヤード可能地の概要を別紙－4に記載してください。

多摩川掘削土砂の有効活用に関するアンケート調査

別紙-3

受入れ可能地の概要

ご回答者様：

お名前：

電話番号：

優先 順位	住所	土地の形態	土地所有者 (圃場整備事業の場合 には「圃場整備」と 記載ください)	計画名称	搬入路 (幅員4m以上) の有無	無の場合の搬入路 借地予定地の外見 上の形態	必要土量					備考
							全体 (m ³)	令和4年度 (m ³)	令和5年度 (m ³)	令和6年度 (m ³)	令和7年度 以降 (m ³)	
	(記入例)											
1	〇〇都〇〇市〇〇町〇〇番地	〇〇跡地	民地(市が買収交渉中)	〇〇年の〇〇予定地	無	荒地	130,000	30,000	30,000	20,000	50,000	
2	〇〇都〇〇市〇〇町〇〇番地	農地	圃場整備	〇〇圃場整備事業	有		50,000	30,000	20,000	0	0	
1												
2												
3												
4												
5												

- ・年度計画は分かる範囲で記載してください。
- ・概略の位置が分かる図面・写真等がありましたら、できる範囲で添付してください。

仮置ヤード可能地の概要

ご回答者様：

お名前：

電話番号：

優先 順位	住所	土地の形態	土地所有者 (わかる範囲で)	土地改良区の位置付け	搬入路 (幅員4m以上) の有無	無の場合の搬入 路借地予定地の 外見上の形態	面積 (m2) (わかる範囲で)	借用可能な時期*				備考
								R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 以降	
(記入例)												
1	〇〇都〇〇市〇〇町〇〇番地	農地	民地 (土地改良区)	休耕地	無	農地 (休耕地)	15,000	5月～〇	〇	〇	R8.10まで	
2	〇〇都〇〇市〇〇町〇〇番地	〇〇跡地	民地 (市が買収交渉中)	〇〇年の〇〇予定地	無	荒地	15,000	5月～〇	〇	〇	R8.10まで	
1												
2												
3												
4												
5												

*借用可能な時期については、可能な年度に〇印を記載してください。
*概略の位置が分かる図面・写真等がありましたら、できる範囲で添付してください。